

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

- | | | |
|----|------------|------------|
| 1. | 学校教育学部 | 3-1-1 (教育) |
| 2. | 学校教育研究科 | 3-2-1 (教育) |
| 3. | 連合学校教育学研究科 | 3-3-1 (教育) |

学校教育学部

I	教育水準	3-1-2(教育)
II	質の向上度	3-1-4(教育)

Ⅰ 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、初等教育教員養成課程に必要な教員を適切に配置するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、学生の授業評価結果への教員のコメントのウェブサイトでの公開、学生による評価結果のレーダーチャートでの表示、積極的に授業を公開する体制の整備など、積極的に授業改善を行うなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、学校教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、授業科目の区分を改め、小学校教員養成の充実とともに、現代的課題に対応できる資質を高める教養教育、キャリア教育の充実、今日の学校教育課題への対応、教育実習と授業科目との協働によって、現代の学校や社会の変化に適切に対応することを目指すなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、単位互換の取組を含め、「ボランティア体験学習」、「スクールサポーター」等の相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、学校教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、少人数授業を多くし、発表能力やコミュニケーション能力の向上、習熟度別クラス編成、マイクロティーチング、授業補助者の採用、ICTの活用、シラバスの記載形式の統一等を採用するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、CAP 制の導入や教育支援システムによる履修状況等の確認、指導教員等による修学指導により単位実質化の実現などの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、学校教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、ほとんどの学生が卒業要件を満たす単位を認定されていること、ほとんどの学生が教員採用の現状を認識し複数の免許を取得しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、学生による授業評価によれば、シラバスの活用は十分とはいえず、予習や教員への質問が多くない傾向があるものの、かなりの学生が、学習指導力、自ら研鑽を続ける意欲を持ち、子どもを教育する力の育成に寄与するなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、学校教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、卒業生の教員就職率は極めて高いなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「関係者からの評価」については、卒業生が勤務する兵庫県下の公立小・中学校長による聞き取り調査によれば、協調・協働・社会的関係、自覚・意欲・気概、人権感覚、実践的指導力等について肯定的な評価を得るなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、学校教育学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

学校教育研究科

I 教育水準	3-2-2(教育)
II 質の向上度	3-2-4(教育)

Ⅰ 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、大学院設置に必要な教員を適切に配置し、現代の教育課題に的確に応えることを目指した専攻から構成されるなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進のためにFD推進会議大学院部会を設置し、学生が作成した授業アンケートの実施、定期的な授業評価と改善の取組、外部者による公開授業を行うなど、意欲的な取組が認められ、相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、教員としての幅広い見識を高めることを目指した共通科目、専門職としての能力を高める専攻科目から編成されているが、これに加えて、三つの教育プログラムを新設、平成19年度からは二つの新専攻を加えている。これらの教育課程により、よりきめ細かい教育が実現されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、学校教育実践の豊かな教員を配し、サテライトを活用した開講授業科目の充実を図り、また長期履修学生制度を設けることによって、学生や社会の要請に応えようとしているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断さ

れる。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、少人数授業を重視し、事例研究やロールプレイ等の演習を盛り込み、ティーチング・アシスタント(TA)の任用により実践的研究に役立つよう工夫しているほか、シラバスをより詳細に示すなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、オフィスアワーや電子メールを活用した個別指導により、また実践的な演習のための時間を確保して、学生が自己の課題を明確化できることを目指し、主体的な学習を可能にするなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、標準修業年限内で修了している者は99.7%であること、専修免許状を取得する者がほぼ全員であること、学位論文については、関係学会誌や紀要に掲載されたものもあるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、教育課程に対するアンケートによれば、学習指導力、自ら研鑽を続ける意欲、子どもを適切に指導する力の育成に寄与したとする回答が多く、また教育現場へ還元する能力が身についたとする者も多く、これらの傾向は、専門科目、課題研究、修士論文についても肯定的な傾向が認められるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、

学業の成果は、学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、約半数が現職教員であるため学校現場へ復帰しているが、それ以外の修了生の80%程度が教員として就職しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、修了生が勤務する兵庫県下の小・中学校長に対する聞き取り調査によると、修了生の協調・協働・社会的関係、実践的指導力、専門的知識・理解、児童生徒・保護者の信頼、自覚・意欲・気概等について肯定的な評価を得るなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

連合学校教育学研究科

I 教育水準	3-3-2(教育)
II 質の向上度	3-3-4(教育)

Ⅰ 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、教育現場の要請に応える専攻を設置し、教員を適切に配置するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、学生による授業アンケートも参考にしながら授業形態の変更も含め、改善に努めるなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、適切な教育課程の編成がなされている。また、教員の「共同研究プロジェクト」への学生の参加、研究発表会等での外国人研究者の参加、国際学会等における研究発表活動の促進等により、大学院生の研究能力育成を目指しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、現職教員や社会人学生のためにフレックスタイム・カリキュラム制度の導入、遠隔教育システムの整備・活用、研究発表における旅費支援に努めるなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、学生に授業内容に関する詳細な情報を与え、複数の教員が研究指導を行い、また、リアルタイム・コラボレーション・システムを活用する指導を行うなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、学生の主体的な研究活動を活発にすることを目指し、D1セミナー、学生研究発表会等を行うなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、入学後1年以降に論文作成学力を具備しており、その結果学位授与者数が53.3%と高い成果を上げているなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、総合共通科目の授業の意義に関して、受講学生から肯定的回答を得るなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、修了者の 89.4%が、大学等教員 37.9%を含め教育研究関係の機関に就職するなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「関係者からの評価」については、修了生等にアンケート調査を実施しており、ほとんどの修了生が授業が有意義であったとし、修了生の勤務先の所属長の多くは、学力、資質能力等、実践的貢献についてそれぞれ肯定的に評価するなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。